

群馬県立心臓血管センター

地域医療連携たより

No.

60

当センターは《地域医療支援病院》です。



目次

- ▶ ミニレクチャー「心房細動アブレーションの新展開 ～New strategy and energy source～」
第76回群馬県立心臓血管センター症例検討会ミニレクチャーより 循環器内科部長 中谷 洋介
- ▶ コメディカルコーナー
《検査課より／静脈瘤外来と臨床検査技師の役割》
- ▶ 令和3年7月度外来担当医一覧表

群馬県立心臓血管センター
地域医療連携室

〒371-0004 群馬県前橋市亀泉町甲 3-12
TEL:027-269-7455 (内線 2040・2043) / FAX:027-269-7286
URL:<https://www.cvc.pref.gunma.jp/>

令和3年7月発行

心房細動アブレーションの新展開 ～New strategy and energy source～

≫ 循環器内科部長 中谷 洋介

近年、心房細動に対するアブレーションにおいて、治療戦略、デバイスともに著しい進歩がみられます。
今回は2つの最新のトピックについてご紹介いたします。

① Marshall 静脈に対するエタノール注入

Marshall 静脈は、胎生期の左上大静脈の遺残構造物であり、左肺静脈と左心耳の間の ridge と呼ばれる部位の心外膜側を走行して冠静脈洞へ流入します (図 1A)。Marshall 静脈は心房頻拍、心房細動に密接に関与することが知られていましたが、従来はアブレーションを行うことが困難でした。しかし、Marshall 静脈へエタノールを注入することによりアブレーションを行う方法が近年試みられており (図 1B)、その有効性が

多くの研究により確立されてきております。特に、心房細動患者において Marshall 静脈エタノール注入群と高周波アブレーション単独群を比較した無作為割り付け試験 (VENUS 試験) で、エタノール注入が不整脈再発を有意に抑制したことは、不整脈分野で大きなインパクトを与えました。当院でもすでにこの治療を開始しており、難治性の不整脈に対して有効であった症例を経験しております。

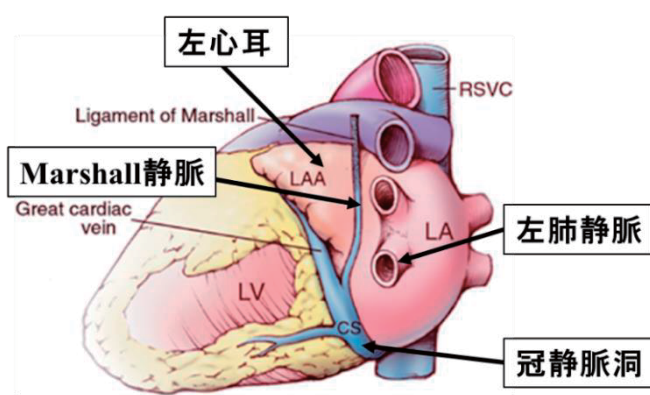


図 1 A

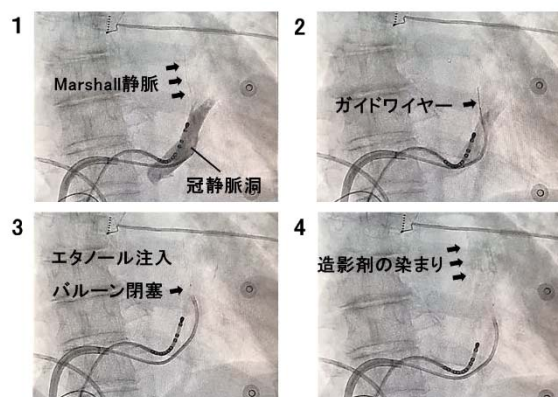


図 1 B

② パルスフィールドアブレーション

高周波、冷凍凝固、レーザーなどによる従来のアブレーションでは、心臓周囲への熱伝導による周囲臓器の傷害が大きな問題となっていました。そこで、熱を使わない新しいエネルギー源によるアブレーションとして、パルスフィールドアブレーションが開発されました。これは電気パルスを加えることにより細胞膜に孔を開け、細胞死を誘導する方法です (図 2)。各種細胞の電気パルスに対する耐性が異なっており、心筋細胞は他の細胞よりも耐性が低いことから、心筋細胞のみを選択的にアブレーションすることができます。そのため、食道、大動脈、横隔

神経などを傷害することなく安全にアブレーションを行うことができます (図 3)。さらに、パルスフィールドアブレーションには、アブレーション後の組織線維化が起りにくいという特徴があることも知られております。これにより、アブレーション後の肺静脈狭窄や左房線維化による心房機能低下を抑制する効果が期待されております。欧米でもようやくこの治療が臨床で使用されるようになってきたところであり、本邦への導入は数年後になりそうですが、導入された際には当院でもいち早くこの治療法を開始したいと考えております。

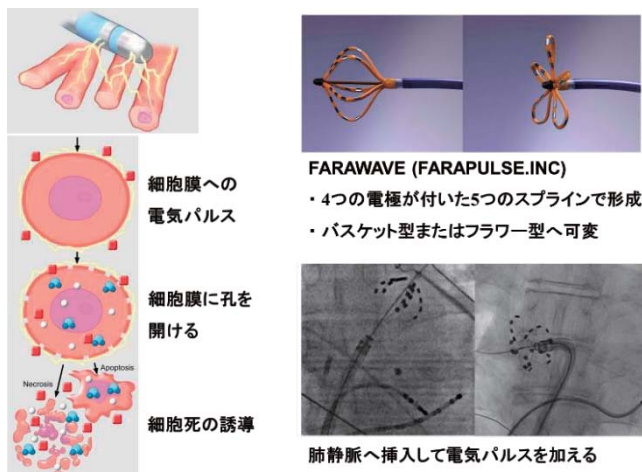


図 2

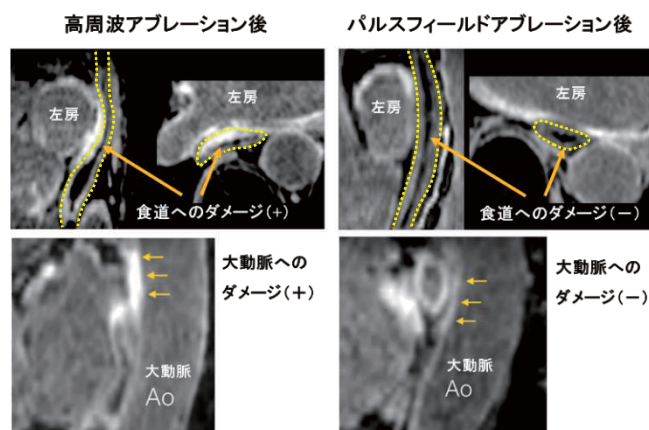


図 3

コメディカル コーナー

検査課より

静脈瘤外来と 臨床検査技師の役割

コロナ禍で PCR 検査を行う職種として報道された「臨床検査技師」ですが、医療現場では診断・治療に直結する検査データを迅速かつ正確に報告する役割を果たしています。

循環器専門の当院では特に心・血管エコー検査が多く、1 日平均で心エコー46 件、末梢血管エコー5 件、経食道心エコー5 件(医師が実施)になります。検査は日本心エコー図学会認定専門技師を含め 7 名が交代で担当しています。混雑が避けられず待ち時間が長くなってしまう日もありますが、初診の患者さんにはその日のうちに検査を受けていただけるよう努めています。



下肢静脈瘤エコーのご紹介

今回は、静脈瘤の治療適応を判断するために行う下肢静脈瘤エコーについてご紹介します。

当院では毎週水曜・木曜日に静脈瘤外来を設置し、静脈瘤の詳細な検査と専門的な治療を行っています。血管内治療では従来の「焼灼術」に加え、より侵襲度の低い「接着術」が行えるようになりました。

下肢静脈瘤エコー検査は、写真のように基本的に患者さんが立った状態で行います。スクリーニング検査では伏在静脈弁不全の有無を中心に観察を行い、静脈瘤を認めた場合には血管内治療を考慮し、術前検査としてさらに詳しく評価を行います。

具体的には血管径の計測、蛇行の有無や程度、弁不全による逆流の範囲を観察していますが、



手術適応基準として、深部静脈に血栓がないことが前提になるため、同時に DVT(深部静脈血栓症)スクリーニング検査も行っています。そのため、静脈瘤検査は約 1 時間程度の検査時間を要することが多いです。

術後翌日検査では主に EHIT(Endovenous-heatinduced thrombus)と呼ばれる、治療による合併症の一つである血栓形成の有無を評価し、さらに 1 年間のフォローアップ検査を行い、術後の経過観察を行っています。

患者さんから **症状が改善した！**という喜びの声を聞くことも多く、私たちも大変やりがいを感じています。

群馬県立心臓血管センター 外来担当医一覧表

※業務都合等で変更となる場合もありますので、確認のうえご連絡ください。

令和3年7月1日 現在

診療科			医師名		月	火	水	木	金	診療科			医師名		月	火	水	木	金
循環器内科	虚血性心疾患門	午後	かわぐち 河 口 廉	●	●			●	心臓血管外科	午後	えづれ 江 連 雅 彦		第1	第1除く	←9:00～				
			くりばら 栗 原 淳	●			●				やまだ 山 田 やすゆき 靖 之			第3除く					
			や の ひでき 矢 野 秀 樹			第1,3 第5	第2,4				ほしの 星 野 じょうじ 丈 二			●					
			け み ゆうた 毛 見 勇 太		●						おかだ 岡 田 しゅういち 修 一			第2除く	←第1週のみ 10:00～				
			すがの 菅 野 こうた 太					●			かねこ 金 子 たつお 夫			●					
			きのした 木 下 さとし 聡			●			下肢静脈瘤		は せ が わ ゆたか 長 谷 川 豊			第4除く	第1,3 第4				
			おおしま 大 島 しげる 茂			●	●				おぎはら 荻 原 ひろし 博			●		●			
			ほしざき 星 崎 ひろし 洋		●			●	外 科 消 化 器 外 科	午後	すずき 鈴木 じゅんこ 純 子	●			●				
			とやま 外 山 たくじ 二			第1,3 第5					すとう 須 藤 としなが 利 永		●						
			ないとう 内 藤 しげと 滋 人	●	●	●	●	●			整 形 外 科	午前	すずき 鈴木 ひでき 秀 喜	●	●		●	●	
	なかむら 中 村 こうき 紘 規				●		たけち 武 智 る み 瑠 美		●	●				●					
	み き ゆう こ 三 樹 祐 子	●					ありた 有 田 さとる 寛			●									
	たけ 武 ゆたか 寛			●			循環器内科(専門外来)	午前	あだち 安 達 ひとし 仁					●					
	ごとう 後 藤 こうじ 貢 士	●				●			むらた 村 田 まこと 誠				●						
	さ さ き たけひと 佐 々 木 健 人					●			やました 山 下 えいじ 英 治	●									
	きむら 木 村 こうき 光 輝	●						心 不 全	午後	やました 山 下 えいじ 英 治		●			第2,4				
	まし 岸 しょうへい 翔 平		●							あだち 安 達 ひとし 仁			●						
	よしむら 吉 村 しんご 真 吾					●				お の ぜんべい 小 野 善 平									
	なかたに 中 谷 ようすけ 洋 介		●					高 血 圧		ないとう 内 藤 しげと 滋 人				第2	第2				
	はらぐち 原 口 ゆみこ 裕 美 子		●							み き ゆう こ 三 樹 祐 子					第3				
	さ さ き わたる 佐 々 木 渉				●		うぶかた 生 方 さとし 聡						第4						
診療科	心臓リハビリ部門	午前午後	あだち 安 達 ひとし 仁	午後	●		●	診療科			医師名		月	火	水	木	金		
			むらた 村 田 まこと 誠			●													
診療科	新患者外来		循環器内科担当医	午前8時30分～11時															
				●	●	●	●	●											
診療科			医師名		月	火	水	木	金										

1 受付時間は、午前8時30分～11時までです。
なお、予約再来の方は、午前8時15分から受付いたします。

【外来休診日】
土曜、日曜、祝日
年末年始(12/29～1/3)

2 紹介状持参の患者さんは、初診・再来にかかわらず、総合受付6番(地域医療連携窓口)で受付いたします。

3 当院は「紹介型外来」を行っており、紹介状持参の患者さんを優先して診療いたします。
地域医療連携室では、先生方から事前に患者情報を御連絡いただいたうえで、診察日時を予約いたします。FAX用診察申込書またはFAX用検査予約申込書《MRI・CT・シンチグラム・骨密度(DXA法)》を御利用ください。
円滑に診療を進めるためにも、事前予約を御活用ください。
なお、午後5時以降、または休診日にお

送りいただいたFAXへの対応は、翌日または休診日明けとなります。
あらかじめ、ご了承ください。

患者さんの待ち時間を少なくするために、御協力をお願い致します。